

# 教 育 長 報 告

## 1 報 告 事 項

平成 21 年第 3 回沖縄県議会(2 月定例会)における質問・答弁概要について

## 2 事 項 の 説 明

- 平成 21 年 2 月 10 日に開会した平成 21 年第 3 回沖縄県議会(2 月定例会)における代表質問、一般質問において、主に次のような質問があった。

### 主な質問事項

- ( 1 ) 全国学力テストの結果及び学力向上対策の取組について: 仲田弘毅、嘉陽宗儀、大城一馬、上原章、照屋守之
- ( 2 ) 本県と秋田県の教育について: 照屋守之、嘉陽宗儀
- ( 3 ) イギリスの学力テストについて: 新里米吉
- ( 4 ) 小学校における 30 人学級の導入について: 照屋守之、上原章、渡嘉敷喜代子、赤嶺昇、大城一馬、渡久地修、当銘勝雄
- ( 5 ) 基礎学力習得のための教員の配置について: 照屋守之、新垣清涼、吉田勝廣
- ( 6 ) 凡事徹底の取組と沖縄らしさの教育について: 平良昭一
- ( 7 ) 「多様な人材の育成・文化の振興」について: 仲宗根悟
- ( 8 ) 教育委員会の地域開催等について: 玉城義和
- ( 9 ) 県からの補助金交付団体、民間等への天下りの実態の把握について(教育庁関連): 上里直司
- ( 10 ) 勤務実態調査の結果を踏まえた改善策について: 奥平一夫、嘉陽宗儀、西銘純恵
- ( 11 ) 教員のメンタルヘルス対策について: 奥平一夫
- ( 12 ) 公立学校の長時間労働者に対する面接指導体制の整備について: 照屋大河
- ( 13 ) 新たな職の設置について: 嘉陽宗儀
- ( 14 ) 教員選考試験の変更等について: 玉城義和、山内末子、具志孝助
- ( 15 ) 沖縄盲学校の単独校としての存続について: 照屋守之、上原章、赤嶺昇、大城一馬、嘉陽宗儀、仲村未央、仲田弘毅
- ( 16 ) 沖縄盲学校、沖縄ろう学校の単独校としての存続について: 前田政明
- ( 17 ) 特別支援教育支援員の推進状況について: 上原章
- ( 18 ) 障害のある幼児・児童生徒への特別支援教育の推進について: 新垣清涼

- (19)伊平屋村の特別支援教育の支援体制について:新里米吉
- (20)特別支援学級の設置等について:赤嶺昇、大城一馬、西銘純恵、照屋大河、島袋大
- (21)少年非行の原因と対策について:嘉陽宗儀
- (22)児童生徒の立ち直り支援と居場所づくりの取組について:新垣清涼
- (23)カバンを持たないで登校する生徒の実態と対策について:吉田勝廣
- (24)学校裏サイト実態調査の結果及び対策について:渡久地修、照屋大河
- (25)新学習指導要領の内容及び県の取組について:仲田弘毅
- (26)小学校における外国語活動について:赤嶺昇、玉城義和、新垣清涼、當山眞市
- (27)NIEの推進について:仲村未央
- (28)情報教育について:新垣清涼
- (29)キャリア教育について:新垣清涼
- (30)県立高校の進級制度について:新里米吉、奥平一夫、平良昭一
- (31)北部地区周辺高校の今後の展望について:吉田勝廣
- (32)専門高校入学生への対応及び教員の在校年数について:吉田勝廣
- (33)高校生の雇用状況と対応について:大城一馬、玉城ノブ子、奥平一夫、仲田弘毅、  
當山眞市
- (34)ジョブサポーター配置事業について:新里米吉
- (35)教育委員会の雇用対策事業について:吉田勝廣
- (36)教科書検定問題について:大城一馬、嘉陽宗儀
- (37)本県の平和学習の取組について:平良昭一
- (38)不発弾の持ち込みについて:平良昭一
- (39)昨年2月の米兵暴行被疑事件に対する学校の「再発防止策」について:比嘉京子
- (40)学校給食費の値上げを予定している市町村と値上げ額及び県の助成について:  
西銘純恵
- (41)空手道世界大会の開催概要と今後の展望について:新垣清涼、瑞慶覧功
- (42)平成22年度全国高校総体に向けた取組について:新里米吉、新垣清涼
- (43)体力テストの結果と検証について:山内末子、平良昭一
- (44)小学校における体育の専門教師の配置計画について:山内末子
- (45)小中高校におけるゴルフ授業導入について:當山眞市
- (46)プロ野球キャンプの教育効果について:山内末子
- (47)修学旅行を上海・香港へ奨励することについて:瑞慶覧功
- (48)海外留学生派遣について:渡嘉敷喜代子、大城一馬
- (49)沖縄学生会館の存続について:新里米吉、上里直司
- (50)県立高等学校編成整備計画及び南部工業高校と南部農林高校の統合について:  
新垣安弘

- (51) 学校統廃合後の学校跡地の利用について:新垣安弘、平良昭一
- (52) 中頭教育事務所の跡地利用について:玉城満
- (53) 鏡が丘養護学校の校舎及び寄宿舎の改築について:西銘純恵
- (54) 太陽光発電の全小中学校への普及について:糸洲朝則
- (55) 校舎耐震化工事の対象数及び対応について:上原章
- (56) 図書館行政について:上里直司

このうち、「小学校における30人学級の導入について」、「教育委員会の地域開催等について」、「教員のメンタルヘルス対策について」、「沖縄盲学校の単独校としての存続について」、「沖縄学生会館の存続について」の答弁要旨は、以下のとおりである。

#### (4) 小学校における30人学級の導入について

質問要旨： 学力向上を図るには、子どもたちが授業を楽しみ、勉強が楽しいと感じることが重要である。本県において、子どもたちの学習意欲を高めるための、教育環境、学級編成、教員の配置などの態勢づくりはどうなっているか。

答弁要旨： 学級編制や教職員の配置等につきましては、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」に基づき措置しているところであります。本県では、現在、小学校1年生については30人学級編制を行っており、次年度は小学校2年生へ拡大してまいります。

小学校3年生以上については、少人数指導のための指導方法工夫改善による加配教員を配置して、指導の充実を図っているところであります。

今後とも、国の動向等を踏まえながら、子どもたちの学習意欲を高めるための態勢づくりに努めてまいりたいと考えております。

#### (8) 教育委員会の地域開催等について

質問要旨： 教育委員会の地域での開催は結構なことである。同時に地域に開かれたものにするために各地域で住民や父兄の意見を聞く場をつくるべきと思うがどうか。

答弁要旨： 県教育委員会会議につきましては、毎月1回から2回、教育庁会議室にて開催しており、原則公開としております。

他県におきましては、会議会場を地域に移す移動教育委員会等を実施し、より県

民が傍聴しやすくなるような取組を行っているところがございます。

県教育委員会におきましても、こうした他県の事例を参考に、本県にあった移動教育委員会が年内に実施できるよう検討を進めているところであります。

また、移動教育委員会において地域の方々のご意見を伺い、県教育委員会の施策に反映できるよう、開催地の市町村教育委員会と連携を図りながら実施に努めてまいりたいと思います。

#### (11) 教員のメンタルヘルス対策について

質問要旨： 休職者の職場復帰の実態、復帰支援とその実績についての報告と教育長の見解について聞きたい。

答弁要旨： 平成19年度における精神性疾患による休職者のうち、職場復帰した教職員は100名となっております。

そのうち、休職期間1年未満が81名、1年以上2年未満が17名、2年以上3年未満が2名となっております。

教職員の職場復帰にあたっては、各学校において校務分掌の配慮や持ち授業時数を軽減するなど復帰しやすい環境づくりに努めているところであります。

なお、県教育委員会としましては、教職員が安心して職場復帰できるよう「復職支援プログラム」の4月実施に向けて取り組んでいるところであります。

#### (15) 沖縄盲学校の単独校としての存続について

質問要旨： 特別支援学校編成整備計画の中で県立盲学校については、併設型ではなく単独型の視覚特別支援学校として継続の要請があり、尊重すべきだと思いが教育長の考え方を聞きたい。

答弁要旨： 学校教育法が改正施行され、従来の盲・聾・養護学校は、複数の障害種に対応した教育を行うことができる特別支援学校制度へと改められました。

県教育委員会としましては、特別支援学校を整備する場合には、障害種ごとの教育課程や学級編制及び障害の特性に応じた教室等の区分により、専門性の維持及び安全性の確保に努めることを説明しております。

現在、沖縄盲学校の保護者等へ敷地面積等も考慮した校舎配置図等を示し、意見交換を行っておりますが、安全性の確保への懸念が払拭できない場合には、計画の見直しもあり得るものと考えております。

(49) 沖縄学生会館の存続について

質問要旨： 沖縄学生会館が3月末に閉館するとのことだが、OBや父母会からの意見を聞いたのか。建て替えを含め存続に向けて取り組むべきだが見解を聞きたい。

答弁要旨： 沖縄学生会館は、築46年が経過し、建物の老朽化が著しく、耐力度調査の結果、「構造上危険な建物」であることが判明いたしました。

このことから、沖縄県国際交流・人材育成財団においては、入寮生の安全確保を図ることを最優先に、平成21年3月末をもって、閉鎖することとしております。

沖縄学生会館の今後の在り方については、同財団等の意向や、沖縄学生会館入寮生の父母及び入寮生等の意見を参考にするとともに、「沖縄県県外学生寮検討委員会」において検討しているところであり、年内を目途に結論を出していきたいと考えております。

○ 予算特別委員会において、以下の議案の審査が行われた。

予 算

甲第1号議案 平成21年度沖縄県一般会計予算 (修正議決) 委員長裁決

甲第24号議案 平成20年度沖縄県一般会計補正予算(第3号) (原案可決)

次の新規事業について質問があった。

(1) ジョブサポーター配置事業について(77,035千円)

質問要旨： この事業の配置計画について聞きたい。

答弁要旨： ジョブサポーター配置事業は、社会経験豊富なジョブサポーターを県立高校に配置することにより、学校の進路指導体制の充実強化、就職内定率の向上、早期離職の改善を図ることを目的としており、平成21年度は40校に配置いたします。

○ 文教厚生委員会において、以下の議案及び陳情の審査が行われた。

条例、議決事件

乙第22号議案 沖縄県教育委員会関係手数料条例の一部を改正する条例 (原案可決) 多数

乙第23号議案 沖縄県立高等学校等の設置に関する条例の一部を改正する条例 (原案可決)

- 乙第 24 号議案 沖縄県学校職員定数条例の一部を改正する条例 (原案可決) 多数  
 乙第 38 号議案 指定管理者の指定について(奥武山総合運動場) (原案可決)

新規陳情(4件)

- 陳 情 第 43 号 「人体の不思議展」県立博物館使用の中止を求める陳情 (継続審議)  
 陳 情 第 56 号 沖縄盲学校を「視覚特別支援学校」として存続を求める陳情 (採 択)  
 陳 情 第 57 号 学校給食に環境保全型農業で生産された農産物の使用促進に関する陳情 (継続審議)  
 陳 情 第 65 号 沖縄ろう学校を「単独型の聴覚特別支援学校」として存続を求める陳情 (継続審議)

継続陳情(25件)

- 陳情平成 20 年第 35 号 石垣市における小学校低学年の 30 人以下学級の実現を求める陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 40 号 「30 人以下学級」の早期実現を求める陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 50 号 沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 57 号 2009 年度政府教育予算の拡充を求める意見書の採択に関する陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 59 号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 63 号 サッカー専用スタジアムの早期建設に関する陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 64 号 「戦争のできる国民づくり」教育に反対する陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 66 号 沖縄県立図書館八重山分館の存続に関する陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 67 号 沖縄県立図書館八重山分館廃止に反対する陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 82 号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 90 号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 93 号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 105 号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 107 号 沖縄県立図書館八重山分館の廃止撤回を求める陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 110 号 沖縄県立図書館八重山分館の存続を求める陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 112 号 友愛スポーツセンター跡利用に関する陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 124 号 「30 人以下学級完全実現」を求める陳情 (継続審議)  
 陳情平成 20 年第 125 号 「全国学力・学習状況調査」の公表等に関する陳情(継続審議)

陳情平成 20 年第 137 号	サンゴの保護に関する陳情	(継続審議)
陳情平成 20 年第 141 号	アメラジアンの公的支援に関する陳情	(継続審議)
陳情平成 20 年第 142 号	天然記念物の伐採に関する陳情	(継続審議)
陳情平成 20 年第 175 号の2	第 58 回婦人大会の宣言・決議の実現方に関する陳情	(継続審議)
陳情平成 20 年第 189 号	子供たちに行き届いた教育の保障を求める陳情	(継続審議)
陳情平成 20 年第 192 号	第 60 回九州地区地域婦人会及び平成 20 年度全地婦連九州 ブロック会議の決議に関する陳情	(継続審議)
陳情平成 20 年第 199 号	沖縄県教育委員会の職務不履行に関する陳情	(継続審議)

このうち、陳情の審査について、主に次のような質疑が行われた。

**陳情第 56 号 沖縄盲学校を「視覚特別支援学校」として存続を求める陳情**

**質問要旨：** 沖縄盲学校を併設型特別支援学校とする場合、安全性の懸念についてどのように考えているか。

**答弁要旨：** 校舎の配置を検討してみたところ、敷地が狭隘なため4階建て校舎による一種類の図面しか作成することができなかった。この配置では、生徒の安全面を確保できるか懸念があるため、沖縄盲学校は単独校として継続していきたい。

県教育委員会としては、複数の障害に対応する特別支援教育の理念を掲げていることから、沖縄ろう学校については、併設型整備に係る複数の案を提示して、今後も保護者と意見交換を継続していきたい。

**陳情第 35 号 石垣市における小学校低学年の 30 人以下学級の実現を求める陳情ほか3件**

**質問要旨：** 今後の 30 人学級実施計画について聞きたい。

**答弁要旨：** 平成 21 年度の 30 人学級実施校については、新1年生は 231 校 558 学級、新2年生は 230 校 539 学級となっており、実施率は8割を超えてかなりの改善が図られるものと考えている。

今後、3年生以上に拡大することについては、教育効果、全国的な状況を見ながら検討していく。

私は、小学校から中学校に移る際につまずく子が多い「中1ギャップ」の改善のため、まずは中学校1年生での導入がいいと考えている。

○ 総務企画委員会において、以下の議案の審査が行われた。

条例、議決事件

- 乙第 40 号議案 沖縄県教育委員会委員の任命について (同意)  
乙第 43 号議案 沖縄県職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 (原案可決)

○ 米軍基地関係特別委員会において、以下の請願及び陳情の審査が行われた。

継続請願・陳情(2件)

- 請願平成 20 年第 1 号 新基地建設に関する請願 (継続審議)  
陳情平成 20 年第 89 号 普天間飛行場代替施設(新基地)建設事業にかかるアセス手続及び「環境現況調査」並びにキャンプ・シュワブ内における「造成」工事等に関する陳情 (継続審議)

※各委員会で審議された県教育委員会関係議案等の本会議における処理状況  
(平成 21 年 3 月 25 日)

甲第 24 号議案及び乙第 23 号議案は、全会一致で原案のとおり可決された。

乙第 38 号議案は、全会一致で可決された。

乙第 40 号議案は、全会一致で同意された。

甲第 1 号議案、乙第 22 号議案、乙第 24 号議案及び乙第 43 号議案は、賛成多数で原案のとおり可決された。

関係陳情の審査の結果は、各委員会委員長の報告のとおり全会一致で決定された。